

# 医療総合支援機構タイムス

発行：医療総合支援機構 / 〒502-0082 岐阜県岐阜市長良東2-37 RSDビル3階 北号室 電話 080-2658-4749



医療総合支援機構タイムス 第2回 対談

新型コロナ感染症対応とウイズコロナの展望



岐阜県知事

**古田 肇**

Hajime Furuta

一般社団法人医療総合支援機構  
代表理事

**小倉 真治**

Shinji Ogura



## 医療総合支援機構タイムス 第2回 対談

新型コロナウイルス感染症対応と  
ウィズコロナの展望

ゲスト

岐阜県知事

古田 肇

一般社団法人医療総合支援機構  
代表理事

小倉 真治



## これまでの対応といわゆる「岐阜モデル」の特徴

**小倉** これまで、コロナ禍で第1波～第5波までを経験してきました。その中で、岐阜県ならではの特徴はどのようなものであったか、あらためて知事の理念をお聞かせください。

**古田** まずは、この場をお借りして、新型コロナウイルスとの闘いの最前線に従事していただいております、医療従事者の皆様一人おひとりに深い敬意を表すとともに、あらためて深く感謝申し上げます。さて、県内初の陽性者が確認された昨年2月以降、感染拡大の5つの波を経験しました。度重なる感染拡大の波の中で、私どもは、感染症対策の「岐阜モデル」として『「オール岐阜」による推進体制』『専門知の尊重・積極的活用』『スピードと決断』を3つの柱に据え、これを軸に「県民の命を守る」対策を展開してまいりました。

**小倉** なるほど、もちろんこの岐阜モデルで「多くの県民の命を救えた」という実感を最前線の私も持っております。その中で、「自宅療養者ゼロ」というのはどういうお考えで推進されたのですか。

**古田** なぜ自宅療養者ゼロを明確な政策として掲げたかという、感染者の急変に適切に対応し、また家庭内感染を

阻止するための「自宅療養者ゼロ」なんですね。本県はこれを第4波まで一貫して堅持してきました。残念ながら第5波の感染爆発時には一時的に自宅療養をお願いせざるを得ない状態に陥りましたが、病床・宿泊療養施設の拡充や自宅療養者支援チームを発足させるなどして、何とか1カ月弱でゼロに戻すことができました。私どもが重要視する、この「自宅療養者ゼロ」の堅持は、多くの医療従事者、医療機関の皆様の圏域を越えたご協力などがあって初めて成立するものです。まさに「岐阜モデル」を代表する成果だと考えており、医療の専門家の皆様からも高く評価をいただいております。

**小倉** 私も知事の専門家会議での明確な方針提示には本当に感心しています。専門家会議に出席していてもストレスがないのを感じます。岐阜大学医学部附属病院では、県内でクラスターが発生した直後、「新型コロナは単なる感染症ではなく、災害である」という認識の下、即座に災害対策本部を立ち上げました。その後、拡大を防止し、適切に進めることができました。医療資源の最適化という観点に立って物事を考えることが重要であると認識しています。その中で県の自宅療養者ゼロを堅持しながら、一旦それを崩す勇気があったことが、最高のタイミングで最適化ができたのではないかと考えています。

**古田** 小倉先生には、岐阜モデルの3本柱の一つ「専門知の尊重・積極的活用」のメインとなる「感染症対策専門家会議」において、貴重なご意見をたくさん頂戴しております。とりわけ「現場はまさに戦場」といった危機感あふれるご発言を何度かいただきました。私ども行政の側でも、「この問題は大規模災害に匹敵する、ないしはそれ以上の重大かつ歴史的な危機事案」と認識を日々新たに取り組んでいるところです。また、小倉先生は、医療受け入れ体制の方針を調整・決定する「感染症対策調整本部」に参加されるとともに、E C M O管理となる重症患者の搬送先決定



や、重症患者の圏域を超えた搬送調整にもご協力いただいております。「救急医療」と「新型コロナ対応」の両立は、医療提供体制維持の根幹であり、そういった観点からも、岐阜県の新型コロナ対策に大変ご尽力をいただいております。新型コロナウイルスとの闘いはまだ続きます。引き続きのご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

## 医療体制の維持と経済活性化の両立

**小倉** 経済を動かせば、どうしてもコロナ感染は拡大していきます。そうすると通常の医療は圧迫されていきます。日本では、「医療のひっ迫」という報道も相次いでいますが、諸外国ではあまり聞かれませんが、その差をどのように感じていますか。

**古田** 1,000人当たりの病床数をG7諸国間で比較すると、わが国は1位(12.8床、2位ドイツ7.9床、3位フランス5.8床)であるものの、1,000人当たりの医師数は、7番目(2.5人)にとどまっています。また、100病床当たりの医師数は、G7トップの英国108.1人に比べて、日本は18.1人。病床100床当たりの看護師数も、G7トップの米国403.8人に対して、日本は86.5人と、病床当たりの医療従事者が極めて少ない現状です。このように、わが国の病床ひっ迫は、他の先進国に比べて人口当たりの病床数は多いものの、医療従事者が少ないことがその大きな要因と考えられています。

**小倉** 岐阜県の場合はどのような状況ですか。

**古田** 本県では、医療施設で従事する医師の数は、人口10万人当たり215.1人と、全国平均の246.7人を下回っています。こうした中、本県の既存病床数(人口10万人当たり652.3床、全国37位)に対する新型コロナ感染者のために確保している病床数の割合は、全国で5番目です。つまり、限られた医療人材を新型コロナへの対応に極力割いていただいているということがお分かりになると思います。

**小倉** 相対的に少ない病床数から、コロナ病床を必死で確保しているのが岐阜県医療の現状だと思います。また、岐阜大学医学部附属病院高次救命治療センターは現在、医師が30人体制で稼働していますが、それを底支えしていただいているのが県の施策です。特に県が岐阜大学に設置しているメディカルコントロール体制強化事業センターは、非常に重要な働きをしております。病院前救護体制の確保などを行うメディカルコントロール協議会(県の附属機関)に医師を配置し、救急医療体制の強化のための



調査や分析をはじめ、関係機関への指導や助言、調整などを行ったり、搬送困難事例発生時には受入医療機関の調整を行ったりしています。私は大学教授と協議会会長という両方の立場にあり、岐阜県内の救急医療のすべての領域、医師、救急隊をコントロールして最適化が図れていると思っています。まさに、「オール岐阜」という言葉を守るために医療界も頑張っています。

**古田** 多くの医療従事者と医療機関の皆様のご協力によって、本県の医療提供体制が維持されていることにあらためて感謝を申し上げる次第です。

**小倉** 経済と医療体制の両立も重要になりますが、実行していくための新しいアイデアなどのお考えはいかがですか。

**古田** 現在、国において「ワクチン・検査パッケージ」を活用した行動制限の緩和、日常生活回復に向けた検討がなされています。その実施にあたっては、国民の緊張感に緩みを生むことのないよう、ルールをしっかりと遵守し、経済と感染防止対策の両立を慎重に図っていくべきと考えています。そして感染の局面に応じて、例えば、爆発時期となれば、感染防止対策を徹底的に講じ、減少局面に転じれば、徐々に緩和するなど、メリハリの効いた対応が肝心と考えています。

## パンデミックに対応する人材育成

**小倉** 今年8月1日に岐阜県は岐阜大学に感染症寄附講座を設置しました。このねらいについて知事からご紹介をお願いします。

**古田** 今般の新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、病床のひっ迫や医療従事者の負担が増加するなど、感染症が医療提供体制に多大なる影響を及ぼしています。このような状況において、感染症や感染を制御するための知識に加え、大規模災害時と同様に、医療人材や病床など

の医療資源の最適化に関する知識を持った専門医の確保が重要であることを実感しています。

しかしながら、例えば県内の感染症専門医の今年6月時点の人数は17名、人口10万人あたりに換算すると0.859人であり、全国数値1.285人と比較して低い水準となっています。また、そういった専門医とともに、現場で働く医師や医療スタッフに対しても、感染症の診療や感染制御に関する知識の習得を進め、県内の各圏域において感染症に対応できる体制整備が必要であると考えています。

このため、県内の感染症専門人材の育成、地域連携による感染制御体制の強化、感染症学・感染制御学・感染症災害に関する学術的研究などに取り組むため、県内の医療提供体制のネットワーク及び医療水準向上の要である岐阜大学において、先般8月1日から令和6年3月末まで「感染症寄附講座」を開設したところです。

**小倉** 大学人の立場からすると、感染症寄附講座では、単なる感染症医だけではなく、感染症をコントロールできる薬剤師、感染症パンデミック時に医療体制全体をコントロールできる医師などの人材が育っていくことを期待しています。実際に優秀な教授以下の教員を採用することができ、岐阜市周辺の病院でスタッフを教育し始めているところです。感染症を中心として、その周辺の医療に従事する人材を育てるといった枠組みは全国でも初めてです。

**古田** 感染症専門医になるには長期間の研修などが必要になるなど、「感染症寄附講座」によってすぐに結果が表れるものではありません。しかし、今回の寄附講座の活動を通じて、感染症専門医や高度な知識・スキルを持つ医療従事者を育成する教育研究環境が整備されるとともに、医療従事者間において、専門的、効率的な医療連携体制が構築され、災害レベルの感染症対策が総合的に推進



されることを期待しています。この寄附講座の開設を契機として、現在の新型コロナウイルス対応のみならず、将来「新興感染症」が発生した場合の備えとして、本県の体制強化とともに県民の安全・安心を高めていきたいと考えています。

### ウィズコロナにおける新たな取り組み

**小倉** コロナ禍で国民は「『死が身近にある』ということに気づいた」とよく言われています。そこに対して、どのように生きていくのかということも重要です。「生き方」についての取り組みを教えてください。

**古田** この感染拡大の波は、私たちが「オール岐阜」で、ワクチン接種を推進し、一人ひとりが基本的な感染防止対策を徹底することで、必ず乗り越えられると信じています。しかし、コロナウイルスは完全にはなくなりませんし、新たなウイルスの脅威もあるでしょう。そうした意味で私たちの生き方や働き方が完全に「ビフォーコロナ」に戻ることはないと考えています。

「生き方」については、接触機会を避けるといった人々の意識変革が進む一方で、長期的視野に立つと、逆に人と人の絆や営みがより強く求められ、そこに価値を見出す意識変革も進むのではないのでしょうか。

**小倉** 今後のウィズコロナにおける働き方の展望もお聞かせください。県全体での産業育成についてもお話いただけましたら幸いです。

**古田** 「働き方」に目を向けると、アフターコロナを見据えた社会・経済構造の変革の中で「DX」、「脱炭素社会」、そして「新次元の地方分散」の3つが今後の重要課題と捉えています。

「DX」では、コロナ禍の課題としてデジタル化の遅れが



指摘されています。今後は、これを教訓として「DX」に取り組んでいかねばなりません。リモートを活用した働き方が当たり前になるでしょう。出張や会議が減り、仕事は場所を選ばず、生活に時間を割く自由度が増えていくでしょう。これは「ワークライフバランス」という意味でも有意義です。

**小倉** 最近私は「ワークライフバランス」から一歩進めて「ワークライフインテグレーション」という言葉を好んでおります。すなわちどちらも同時にこなすことで、よりよい人生をとということです。

**古田** 「脱炭素社会」では、自動車の電動化をはじめ、産業構造が大きく変化します。これをチャンスととらえて事業転換を図る必要があります。

そして、新型コロナウイルス感染症は人口密集地でより深刻化しました。「新次元の地方分散」として、どういう場所に住み、どういう仕事を選ぶか。受け皿となる地方はどの

ように移住定住施策を進めていくのが重要です。これを踏まえ、都市部への魅力発信や移住経費の支援など従来の移住促進策に加え、オンライン移住体験ツアーや、県外企業による「サテライトオフィスお試し体験」事業なども行っていきます。

いずれの課題につきましても、日本全国にどうアプローチし、本県において「働き方」を含めた新たなライフスタイルを提案できるか。地方行政を担う立場からは、ニーズを捉えた、より戦略的な視点が必要だと考えます。そのため、本県の強みであり魅力である航空宇宙産業や観光業をはじめとする県内産業全体の付加価値をさらに高めていくことが重要だと考えています。

**小倉** 今回は貴重な見解やお考えをお聞かせいただき、ありがとうございました。

**古田** ありがとうございました。これからも引き続きよろしく願います。



# 新規会員紹介

新たに入会された医療機関をご紹介します



## 白井病院(眼科専門病院)

(右)理事長 白井 義人 先生

【座右の銘・好きな言葉】情熱をもって

(左)病院長 宇野 俊彦 先生

【座右の銘・好きな言葉】愚直にこつこつ



### 編集キャッチ!

外来棟と病棟は十分な広さがあり、すべてが見渡せる開放的な空間になっています。そこには、細部に行き届いた工夫がなされており、特に視力検査においては、同じ空間内に中階段を設けることで、検査台を直交させ、空間スペースを縦に活用したセンスの良さに感動しました。



### 医療法人名世社 白井病院(眼科専門病院)

所在地/香川県三豊市高瀬町上高瀬1339  
電話/0875-72-3131  
FAX/0875-72-3134  
診療時間/8:30~12:00  
14:00~16:00(土曜日17:00)  
休診日/日曜日・年末年始



病院の財産である「人」を一番大切にしています。

「人」に関しては定数にとらわれず、当院にとって必要とする人材であれば定数を超えて積極的に採用しています。業務のパフォーマンスを上げるためには、一人ひとりに余裕がないと質の高い仕事をしたり、良好な人間関係を築き上げたりすることが難しくなります。

また、人材育成には特に力を入れており、中途採用であってもチューター制度を取り入れ、当院の業務にフィットするまでバックアップしていきます。

眼科専門病院として、職員全員には眼科医療に携わるプロとして活躍して欲しいという思いで医師や医療従事者だけでなく、事務職員にも学会や研修等に積極的に参加してもらっています。

そして「医療機器」「外部医療機関」に対しては、既成概念を捨て、法人独自の考え方を持っています。最新の検査機器や手術機器を導入することで最良の医療を提供していますし、大学医局の枠にとらわれず、さまざまな専門医が勤務しており、眼科疾患のほとんどは当院で完結することができます。

これからも、患者さんに「来てよかったあ」と言ってもらえるよう『満足』のいく医療』を提供できるよう心がけていきたいと思います。

## 第4回医療総合支援セミナー 開催報告

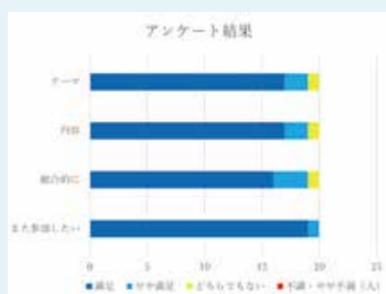
2021年10月7日、第4回目のセミナーを開催いたしました。

今回のセミナーは、新型コロナウイルス感染防止の観点より、十分な感染対策を講じた会場と、初の試みであるウェビナーとのハイブリッド開催で行いました。

講師に当法人の理事でもあるフリージャーナリストの野口晃一郎先生をお招きして、『こ

れからの医療広報とブランド化～広報の必要性に迫る』をテーマにご講演頂きました。

セミナーに参加いただいた約20名の皆様からは、『広報の重要性が分かるセミナーだった』『広報は院内の強みをアピールできる大切な場所だが、伝えるには戦略の必要性が理解できた』等の感想をいただき、盛況のうちに終了しました。



このように全ての項目で90%以上の方に概ね満足頂きました。

ウェビナーでご参加頂いた方々からも、『現地に行く時間を気にせず参加することが出来て良かった』『今後もウェビナーで参加したい』との感想を頂きました。

第5回の開催は来年春頃を予定しております。今後もより多くのニーズに沿った、皆様のお役に立てるセミナーを企画してまいります。詳細が決まりましたらご案内させていただきますので、ぜひご参加くださいませ。



# 医療会員紹介

医療総合支援機構に加盟の会員の皆様をご紹介します



## 石木クリニック

院長 石木 佳英 先生

私は、患者さんのニーズにこたえられるような診療をしていきたいとも思っています。

その中でも特に、内視鏡診療をメインにおこなっており、胃や食道などの上部内視鏡検査は月におよそ120件、大腸内視鏡検査は30件行っています。在宅患者さんも現在15名ほどの担当しており、在宅での看取りも行っております。他にも禁煙治療、睡眠時の無呼吸症候群の簡易的な検査、AGA「男性型脱毛症」の診療も行っており、あらゆるニーズにお応えできるよう取り組んでいます。

「オンライン診療」ではなく、しっかりと対面で話し、聴診器をあてたり、お腹を触ったりと、患者さんの状態を判断し、そのうえで必要に応じて検査を行っています。

患者さんにいい医療を提供するためには、職員が楽しく仕事をしていなければなりません。年一度は2泊で職員旅行へいきます。春、夏、秋には1日休診日にして遠足にいきます。

職員一緒になって「一生懸命働き、一生懸命遊ぶ」をモットーに日々頑張っています。



◆石木クリニック  
所在地/関市西本郷通3-7-41  
電話/0575-23-7455  
FAX/0575-23-7455  
診療時間/9:00~12:30、15:30~18:30  
休診日/木曜日、土曜日午後、日曜日、祝祭日

## 梶の木内科医院

院長 梶 尚志 先生

地域の皆さま、スタッフ、その家族に対して一生のパートナーとして、寄り添う覚悟で診療にあたっています。

梶の木内科の理念は、社会貢献と人材育成です。共に働く医師や医療従事者、事務職員を「人材」として育てていきたいと考えております。感謝の気持ちや喜びを共有することにスタッフのモチベーションがあり、それを他人へ広げることによって喜びを感じているような人材です。

スタッフの教育には力を入れています。診療の合間に、「仕事の目標・目的を持つことが大事である」ということを指導しますが、一緒にWebセミナー受講をしたりして、共に成長しつづけることが地域貢献、他者貢献へとつながっていると思います。当院の特徴として、内科疾患に限らず、アレルギーや皮膚科領域など「身近にあって何でも相談ののってくれる総合的医療」を心がけています。

また、お子さんからお年寄りまでサポートできるよう、梶の木保育園(認可保育園開設)を立ち上げ、在宅医療に力を入れています。当院では、病だけをみるのではなく、病みだるものもの向き合う「心のケア」の取り組みもおこなっておりますので、少しでも気になることがありましたら、気軽にお越しいただき、ご相談下さい。



◆医療法人梶の木会 梶の木内科医院  
所在地/可児市川合2340-1  
電話/0574-60-3222  
診療時間/9:00~12:00、15:00~19:00  
(※土曜日のみ13時まで)  
休診日/木曜日、土曜日午後、日曜日、祝祭日

## おおのレディースクリニック

院長 大野 元 先生

モットーは「一日ひとり、不妊治療にて人口を増やしたい」

当院では、できるだけ早く、身体に優しい治療で妊娠することを最優先しています。

そのため、一般的な「ステップアップ治療」は行っていません。「必要以上の検査」も行いません。きちんと排卵があるのに、排卵誘発剤を使う意味はあるのでしょうか?これらを考慮しないで、教科書的に、漠然とステップ治療をすることで、無駄に時間を費やしてはいませんか?

より早くママになるために何をすべきか?妊娠できないことに対する苦悩をいかに早く取り除くことができるか?私たちは、患者さまの希望を優先しながら、最も高い治療を、できる限り軽減して提供しています。

当院の診察券を見てください。休診がありません。排卵はお産と同じように、いつ起こるかわかりません。それを考えると休んでいられません。

岐阜周辺の人口を増やしたい。私たちは常に患者さまの幸福だけを願っています。



◆おおのレディースクリニック  
所在地/岐阜市光町1-44  
電話/058-233-0201  
FAX/058-232-7148  
診療時間/9:30~12:30、6:00~19:00  
休診日/土曜日、日曜日午後

## かとう耳鼻咽喉科サージッククリニック

院長 加藤 雅也 先生

大学病院勤務医時代の経験を活かし、特に手術を含めて質の高い医療を提供していきたいと思っています。

広範囲な耳鼻咽喉科疾患に対応できる医療施設であり、これまで中耳炎手術を中心に取り組んできた経験から、手術はもちろんのこと、可能な限りここで完結できるような治療を努めています。それだけではなく、幼少期から岐阜で過ごしてきた人的ネットワークから、近隣の病院との深いつながりをもつことで、より良い医療が行えるよう心がけています。

耳鼻咽喉科疾患のみならず、困ったことやご相談がありましたら、気軽に当院へ足を運んでください。

### 【得意とする疾患】

- 中耳炎、アレルギー性鼻炎、花粉症、蓄膿症(慢性副鼻腔炎)、鼻出血、めまい、難聴、睡眠時無呼吸症候群など
- アレルギー性鼻炎に対するレーザー治療可能
- 耳鼻咽喉科(耳・鼻・のど)の病気を全般
- 画像ファイリングソフトを導入、顕微鏡やファイバースコープ(耳・鼻・咽・喉頭の画像)所見、デジタルレントゲン、各種聴力検査などを併発



◆かとう耳鼻咽喉科サージッククリニック  
所在地/各務原市蘇原花園町1-57-1  
電話/058-389-8733  
FAX/058-389-0404  
診療時間/9:00~12:00、16:00~19:00  
休診日/水曜日、土曜日午後、日曜日、祝祭日

## 医療会員紹介



## 岐阜清流病院

理事長 名和 隆英 先生

「笑顔で生きて、笑顔で死にたい」  
 大多数の方の願いではないでしょうか。清光会は地域の皆様のそんな願いが叶うよう、ありったけの努力、心遣いをします。

急な病気にかかってしまった時、病気はよくなったけど動けなくなってしまった時、ご相談

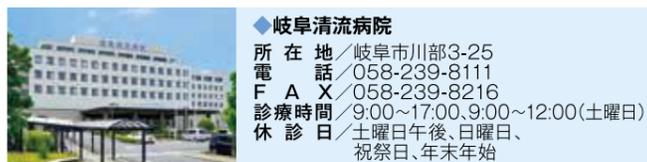


下さい。元気になっていただけるよう全力を尽くします。高齢のご家族の方が弱ってきたと感じられた時、弱られた時、ご相談下さい。ご本人とご家族の希望が叶うようサポートをさせていただきます。

最期を迎えられる時、ご相談下さい。一生で大切な時間をより良く過ごしていただけるよう、寄り添います。医療・介護を通じ、地域の皆様に「笑顔あふれる暮らしをお届けします。」これが清光会の理念です。

皆様に笑顔になっていただける、気軽に使っていただける、地域に根差した法人でありたいと思います。

何卒、よろしくご願ひ申し上げます。



## ◆岐阜清流病院

所在地／岐阜市川部3-25  
 電話／058-239-8111  
 F A X／058-239-8216  
 診療時間／9:00～17:00、9:00～12:00(土曜日)  
 休診日／土曜日午後、日曜日、  
 祝祭日、年末年始

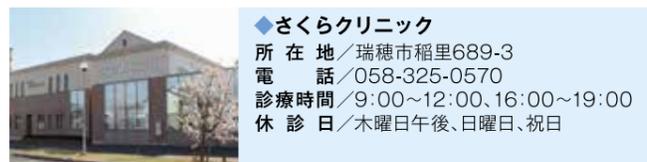
## さくらクリニック

院長 佐竹 真一 先生

当院は、胃・大腸の内視鏡検査がセールスポイントであり、同日に両検査を実施することができるのも魅力の一つです。大腸内視鏡検査では、下剤を飲んだ後の待ち時間を個室で過ごすことができます。個室は全4部屋あり、トイレやテレビ、ソファ等も完備されており映画鑑賞もできます。なるべくリラックスして患者さんの緊張を和らげる空間づくりを心掛けています。先進医療機器の導入・検査を行うことで、早期に小さな病変を発見することができます。他にもエコーやCTなどの導入により高いレベルで検査を行うことができます。



専門分野だけではなく、風邪などの内科や小児科など、幅広い診療に対応しておりますので、まずは気軽にご予約・ご連絡いただければと思います。



## ◆さくらクリニック

所在地／瑞穂市稲里689-3  
 電話／058-325-0570  
 診療時間／9:00～12:00、16:00～19:00  
 休診日／木曜日午後、日曜日、祝日

## 東海中央病院

病院長 松井 春雄 先生

当院は公立学校共済組合の職域病院として設立されましたが、その後、地域住民の方々にも開かれた病院として、現在では、職域の健康管理を担うとともに、各務原市及びその周辺地域において、実質的に市民病院の役割を果たす中核的な公的病院です。

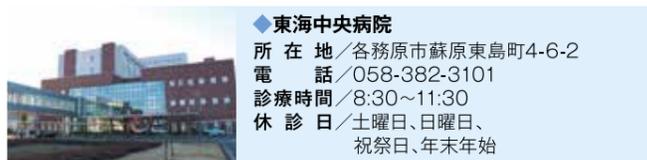


その責任上、経営上不利とされる不採算部門も含めて地域医療に貢献しています。

医療は公共財であるために効率の良い経営が必要ですが、同時に単純な利益至上主義にならないように努力しています。

将来は地域に貢献するために地域枠の医師が活躍できる場を整備したいと考えています。

2011年3月に新病院を開院し、これからが大きな飛躍の時期にあたります。今後も、地域の医療・介護・福祉のコミュニティに密着した親しみのある病院を目指し、日々努めて参ります。



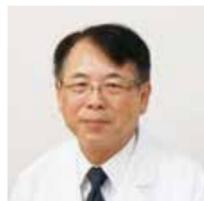
## ◆東海中央病院

所在地／各務原市蘇原東島町4-6-2  
 電話／058-382-3101  
 診療時間／8:30～11:30  
 休診日／土曜日、日曜日、  
 祝祭日、年末年始

## 独立行政法人国立病院機構 長良医療センター

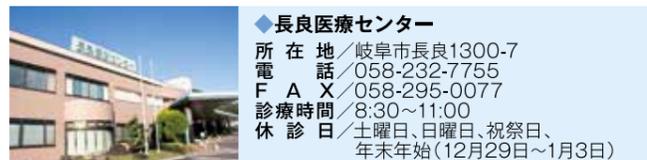
院長 松久 卓 先生

当院は、2005年3月に国立療養所岐阜病院と国立療養所長良病院の2病院が統合し誕生しました。主に筋ジストロフィー・重症心身障害等のセーフティネット医療、結核をはじめとする呼吸器疾患、小児科疾患全般、産科周産期医療を4本柱として専門性の高い医療を提供してきました。しかし医療を取り巻く環境も大きく変わりました。今後は従来の小児科疾患や呼吸器疾患の急性期を受け入れながら、さらに慢性期医療や終末期医療の提供についても視野に入れていきたいと考えています。



私の強い願いは2つあります。1つ目は、この病院が患者さんや職員にとって大切であり、なくてはならない存在であり続けることです。そのためには地域の皆さまと本音で話し合い、一緒になって考えることが重要です。2つ目は、職員がやりがいや誇りをもって働ける職場にすることです。本人のキャリアアップなどを積極的に応援し、援助し続けていきたいと考えます。

今後、超高齢化社会を迎える2040年を見据えて当院はどのように舵をとっていくか、当院が本当に地域の人々から必要な病院であり続けるためにどうしたらよいかを考えながら職員一同努力していきたいと思ひます。



## ◆長良医療センター

所在地／岐阜市長良1300-7  
 電話／058-232-7755  
 F A X／058-295-0077  
 診療時間／8:30～11:00  
 休診日／土曜日、日曜日、祝祭日、  
 年末年始(12月29日～1月3日)

医療総合支援機構に加盟の会員の皆様をご紹介します



## まついファミリアクリニック

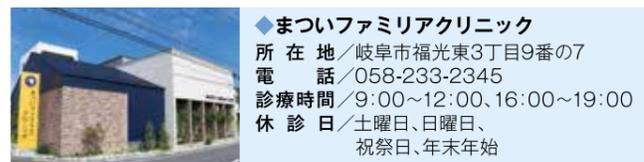
院長 松井 聡 先生

当院の前身、まつい小児科・小児外科医院は、数多くのお子様を診療し、小児医療を通じた地域貢献を果たして参りました。

昨今少子高齢化が一層進み、小さなお子様のみならず、ご高齢の方まで幅広くサポートできる診療所に変わることが望ましい時代となり、より全人的な医療が提供できるクリニックへと進化すべく、2020年2月よりまついファミリアクリニックと名を改め、新築リニューアルオープンいたしました。

父子2人3脚で近隣、岐阜地域のお子様からご高齢の方に至る全ての方の「かかりつけ医」として、専門病院との架け橋となる「ゲートキーパー」として、地域医療に貢献して参ります。

小児診療はこれまで通り、一般内科外科診療もしっかりと行って参ります。わたくし個人といたしましても、父の意思と信条を受け継ぎ、小児診療を大切につつ、これまで岐阜大学病院や市内の中核病院、名古屋のがん専門病院で外科医として小児医療から高齢者医療まで幅広く経験したことをもとに、総合診療医として地域の皆様に父とともに医療貢献できればと思っております。お困りの際は当院へなんでもお気軽にご相談ください。



## ◆まついファミリアクリニック

所在地／岐阜市福光東3丁目9番の7  
 電話／058-233-2345  
 診療時間／9:00～12:00、16:00～19:00  
 休診日／土曜日、日曜日、  
 祝祭日、年末年始

## よしだファミリークリニック

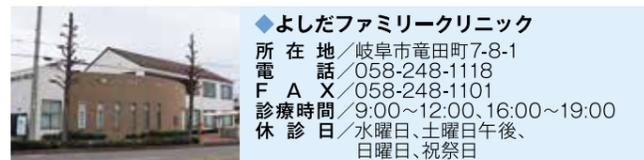
院長 吉田 直優 先生

モットーは「人生を診療にささげる」です。

地域に根差し、生後0歳から90歳をこえる急性期から慢性期まで、すべての患者さんの要望にこたえるという意味で「ファミリー」という名前をつけました。実際に4世代で通ってきている患者さんもいます。

大学救命救急センターでの経験から、消化器、外科をメインに診療しつつ、地域の救急センター的なイメージを持っています。全ての疾患の入口を守るゲートキーパーとして、また、胃がん、大腸がんなどの悪性疾患の早期発見診断を目指しています。適切な高次医療機関に患者さんを紹介することができるのも、大学時代からの友人や先輩、後輩のおかげです。

今後も地域のご家族全員に愛される医院をめざし、全力を尽くして皆さんのお力になります。予防接種・人間ドック、上部消化管内視鏡検査(経鼻極細胃カメラ)による検診や、ウォーターベッド型マッサージ器など各種機器を多用したりハビリテーションも行っていますので、お身体で気になる事がございましたら、いつでもお気軽にお越しください。



## ◆よしだファミリークリニック

所在地／岐阜市竜田町7-8-1  
 電話／058-248-1118  
 F A X／058-248-1101  
 診療時間／9:00～12:00、16:00～19:00  
 休診日／水曜日、土曜日午後、  
 日曜日、祝祭日

## 松波総合病院

病院長 松波 和寿 先生

「地域に必要とされる病院へ」  
 当院は2014年7月に急性期医療に特化した北館が完成し、災害時の医療体制を整えると同時に、救急・急性期医療の充足を図っています。同時に、手術室を増室することで大動脈瘤、急性心筋梗塞や脳卒中にも24時間迅速に対応できるよう、万全な体制をとっています。



ESなくしてCSなしという言葉がありますが、当院では7階全フロアを医局とし、医師全員が垣根なくコミュニケーションをとることが出来るよう、充実した居住空間を確保しています。その結果、高い専門性を有した指導医たちと若手医師がいつでも気軽に意見交換ができる研修の場にもなっています。様々な専門医と総合診療医に接することでヒト全体を診ることのできる総合医的な能力が若い医師に身につくはずと。

最近、イノベーション(技術革新)推進本部という部署を立ち上げました。地域に貢献すべく、考え方やシステムなど新しい価値観を創造し、日常業務に大きな変化をもたらす重要な部署となります。今後は、職員で決めた3か年ビジョンを実現していきたいと思ひます。

【3か年ビジョン】  
 ●地域包括ケアシステムの要として、日本一の民間病院になる。  
 ●誇りを持った職場になる。  
 ●選ばれる病院になる。  
 ●全職員が志を同じくし、常に成長・変化できる組織。



## ◆松波総合病院

所在地／羽島郡笠松町田代185-1  
 電話／058-388-0111  
 F A X／058-388-4711  
 診療時間／8:00～11:30、14:00～16:30  
 休診日／土曜日午後、日曜日、  
 祝祭日、年末年始

## 米倉胃腸科クリニック

理事長 米倉 幸人 先生／院長 米倉 悦子 先生

昭和57年に当地で開院して現在に至ります。消化器疾患(胃腸、肝臓、胆のう、すい臓など)の診断や治療を中心に、一般診療や健康診断、ワクチン接種など行っております。診察は2診察体制で行っております。このようなコロナ感染が心配される状況となってしまいましたので、なるべく院内での待ち時間の少ないように、予約制も併用し診療しております。



当院は、リスク管理、早期発見、早期治療を心掛け、基幹病院との連携をスムーズに行えるように、患者さんの病歴管理などに努めております。当院のみでは解決できないことが起きた場合には、速やかに基幹病院へ紹介し、患者さんの経過が少しでも良くなるようにと、日々診療にあたっています。また検査後の説明も、患者さんに分かりやすく、丁寧に説明することを、心掛けています。これからも、『相談できる地元のクリニック』を目指し、基幹病院や地域診療所との連携を取りながら、地域医療に貢献できるよう努力して参りたいと考えております。

今後とも宜しくご願ひ致します。



## ◆米倉胃腸科クリニック

所在地／各務原市鷺沼西町3丁目131  
 電話／058-370-0781  
 診療時間／9:00～12:00、16:00～19:00  
 休診日／水曜日、土曜日午後、  
 日曜日、祝祭日

**NEW**

「清潔」と「健康」の  
プロフェッショナルとして、  
未来を支え続けます。

株式会社 トーカイ

- ・リース事業
- ・調剤薬局事業
- ・介護用品レンタル事業
- ・病院関連事業
- ・アタラクシア事業
- ・ハウスケア事業
- ・夜間レンタル・リネンサプライ事業

〒500-8828 岐阜市若宮町9丁目16番地  
TEL 058-263-5111 <代表>

水素水が  
食べるお菓子に  
なりました。

手軽に、おいしく  
水素補給!

お菓子 水素 タブレット

30粒入り

プロポリス  
ベリー  
風味

マルチビタミン  
コラーゲン配合

155円  
税込価格

320粒  
入り

水素発生  
パウダー  
入り

無添加  
無着色  
無香料

株式会社 奥長良川名水株式会社

岐阜県関市河戸東原291番地 TEL:0581-58-9011 FAX:0581-58-9010

0120-320-355 奥長良川名水 検索  
受付時間/8:30~17:30(土・日・祝日を除く)

～快適な暮らしをトータルプロデュース～

株式会社 トオヤマ

ソフトウェア開発 モバイルアプリ開発 webサイト制作

株式会社パケモ

愛知県名古屋市中区栄1丁目14-13  
アーク新栄ビルディング8F

052-325-6789  
http://pakemo.jp

制服から医療用ガウンまで  
お気軽にお問い合わせください。

G01001  
アイレーション  
ガウン

G01005  
プラスチック  
ガウン

YATRADE

〒500-8384 岐阜市藪田南5-16-17  
TEL:058-272-7701  
株式会社 ワイエートレード e-mail:yoshiro-a@ya-trade.co.jp

**アナリーズ・コーポレーション**  
(山田会計事務所マーケティング事業部)

■コンテンツ・マーケティング  
・貴院と患者さんをスマホでつなぐ!  
・患者さんに訴求する貴院の特色を検討  
・貴院の特色をデジタル広告化  
・ホームページのアクセスログ解析

■セカンド会計顧問  
・決算申告は現行の会計事務所そのまま  
・月次経営決算書による オンライン経営  
診断  
・給与計算等のアウトソーシング受託

https://hp-keiei-shien.net/  
TEL:058-215-1855 FAX:058-215-1833  
〒502-0082 岐阜県岐阜市長良東2-37 RSDビル3階 北号室

SUZUKI GROUP

企画・制作 グラフィックデザイン カラーマネジメント プリプレス 訳サポート  
印刷通販 TIA WEB制作 オンデマンド印刷 映像・動画制作・中継 商業写真撮影

株式会社 岐阜製版株式会社

〒502-0822 岐阜県岐阜市福田町1丁目30番地  
TEL:058-233-1313 FAX:058-233-6248

OUR CREDO

～私たちの信条～

地域とともにコミュニケーション&マーケティングを軸に、人材とサービスの  
イノベーション・カンパニーとしてさらなる可能性を追求します。

指定管理業務・公共施設運営管理 じゃろうくろがさ・048 ぶれあい・048

イベント企画運営 高専セミナー・医療フォーラム・医療学会企画運営管理

web制作、事務局代行

株式会社 B-doO Communications

〒500-8135 岐阜県岐阜市ノボリ町4丁目19番地  
TEL:058-213-0330 FAX:058-216-0776  
http://www.b-doo.com/

**ライター募集** 「社会人経験のある医療系の国家資格を持つ方」ライター募集!

医療の世界は広範で、私たちの知識や経験だけではカバーできません。そこで、より多くの人に  
有益な情報を提供するため、書き手(ライター)になっていただける方を募集しています。

募集条件 「社会人経験のある医療系の国家資格を持つ方」に限ります。

応募方法 応募希望の方は、下記URLまたはQRコードよりアクセス。「問い合わせフォーム」  
から入力してください。このときは、【ライター応募】という一文を文頭に沿え、自己  
紹介と共にメッセージを送ってください。その後のやり取りの結果、採用を決定し  
たします。

応募方法 (一社)医療総合支援機構 事務局  
TEL:080-2658-4749  
http://iryousougoushien.jp/

搬出も重要な役割です。

・本誌は1人の医師に10分かかるが、レポートがあれば1分で10人医師できます。  
・病院機能がダウンした場合、搬出設備への要請が必須になります。  
・搬出設備の導入は、のみがレポートの役割ではありません。

・レポートの設置を検討する方は必読!

新刊『新・ヘリポートの送り方』 木下 幹也 著

発行 エアロファシリティ株式会社  
編集・制作 株式会社病院新聞社  
448 丸の内1-1209 東京都千代田区千代田 TEL:03-5402-6810

事業内容 企画・編集・デザイン・組版・Webサイト  
撮影・動画制作・製版・印刷製本・物流

印刷を通じて  
社会に役立ちたい。

周年事業 社史・記念誌やロゴなど  
周年記念事業を  
トータルサポート。

出版印刷 教科書、参考書、社史、辞書など  
様々な印刷・出版をサポートする。  
出版印刷のプロフェッショナル。

Gifu ebooks 読書会+7自由体と読書会!  
読書会+7自由体と読書会!  
読書会+7自由体と読書会!  
ポータルサイトを運営。

株式会社 大洋社

本社 岐阜県本巣郡北方町北方148-1  
TEL:058-324-2111 代 FAX:058-324-2119

東京営業所 東京都千代田区内神田1-4-9 松田ビル4階  
TEL:03-3293-8441 FAX:03-3295-0806

OUR CREDO

～私たちの信条～

地域とともにコミュニケーション&マーケティングを軸に、人材とサービスの  
イノベーション・カンパニーとしてさらなる可能性を追求します。

指定管理業務・公共施設運営管理 じゃろうくろがさ・048 ぶれあい・048

イベント企画運営 高専セミナー・医療フォーラム・医療学会企画運営管理

web制作、事務局代行

株式会社 B-doO Communications

〒500-8135 岐阜県岐阜市ノボリ町4丁目19番地  
TEL:058-213-0330 FAX:058-216-0776  
http://www.b-doo.com/

会員募集  
について

一般社団法人医療総合支援機構は、医療に関わるあらゆる悩みや不安を解決することを目的としています。医療福祉の分野は数多くの職種によって支えられており、職員の満足を得ることも重要です。いっぽう、患者にとっても受けている医療に対して満足していただくことが重要になります。

当法人では、医療に関わるあらゆる方の悩みや不安を解決するための支援を行っています。さまざまな職種のプロフェッショナルメンバーがチームとなり、直接、間接的に活動をおこないます。医療の質の向上、職員満足度と患者満足度の向上、そして業務の効率化、職員の採用、教育、リーダー育成などにおいて、常に向上し続ける病院文化を目指す皆様をさまざまな職種のプロフェッショナルがサポートいたします。

現在の会員に対する活動

- 1 機関誌に掲載**  
取材に基づいた各医療機関の売りとする特徴等を機関誌に毎月掲載します。機関誌は毎月、対談やセミナー、医療記事など、他の楽しみもあります。
- 2 ホームページ掲載**  
機関誌同様、各会員医療機関の掲載があります。
- 3 ホームページ作成支援**  
会員メンバーを含め、ホームページの作成支援を行っております。
- 4 セミナー**  
年に2回、特別講演会を行っております。講演する人材は業種・職種問わず、幅広く集めています。
- 5 各研修・講習**
  - 医療コーチング講習  
従業員の承認する文化を醸成できるよう、コーチング研修を動画にて配信しています。
  - 医療安全講習  
クリニックを含めた、あらゆる医療機関に必要な基本領域講習を動画にて配信しています。
  - 医療接客研修  
医療現場での接客の基本となる「伝わるコミュニケーション」を動画にて配信しています。

上記のような特典のある医療会員、またこの活動に賛同する賛助会員を募集中です。是非ご入会をお待ちしております。

問い合わせ先 一般社団法人医療総合支援機構 事務局  
MAIL: info@iryousougoushien.jp TEL:080-2658-4749 FAX:058-230-6451



TOPICS

医療総合支援機構サイト上に掲載中の  
医療記事を抜粋して紹介します

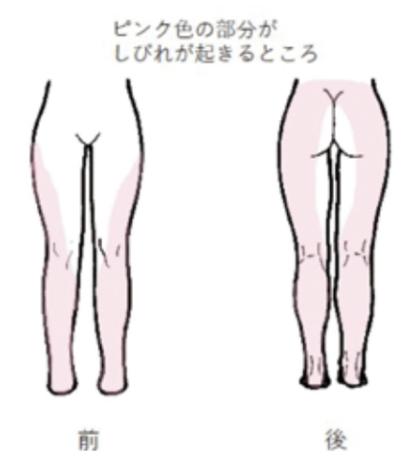
記事の内容はこちらから▶



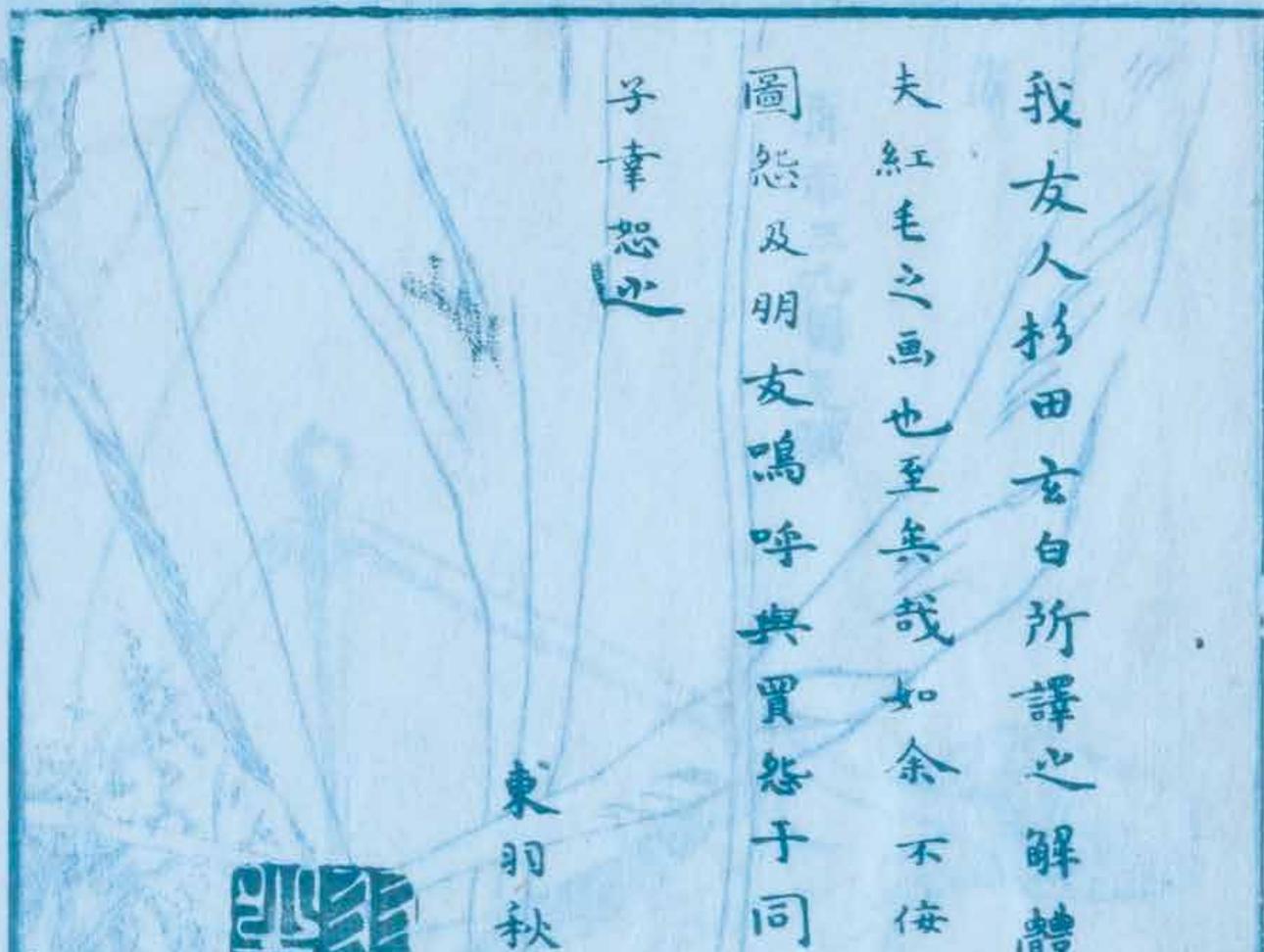
「腰が痛くて、足がしびれる」、このような症状を年代別に解説します!

「近頃、腰が痛いし、足先までしびれる」このような相談を受けることがあります。腰の痛みから、足先までのしびれが生じる疾患はあります。腰の痛みと足のしびれがあると、日常生活にも支障が出るので、とても辛いと思います。

腰の痛みと足のしびれが起きる疾患は、年代によって異なります。全ての年代が同じ疾患とは限りません。腰の痛みと足のしびれの関係性から、年代別の疾患について、詳しくお話していきます。そして、年代に関係なく発症しやすい「ぎっくり腰」についてもお話します。



- 記事目次
- (1)腰痛から足のしびれが起きる原因と状態
    - ・腰痛から足のしびれが起きる原因
    - ・腰痛から足のしびれが起きる状態
  - (2)「腰が痛くて、足がしびれる」このような症状を年代別に解説!
    - ・10~15歳は腰椎分離症・すべり症
    - ・20~40歳は腰椎椎間板ヘルニア
    - ・50~70歳は腰部脊柱管狭窄症
    - ・主に高齢者は腰椎圧迫骨折
  - (3)いわゆるぎっくり腰とは
  - (4)まとめ



## オンラインによる医療接遇研修を開始

～ あるようでなかった医療接遇 ～

プロのアナウンサーが分かりやすく教えてくれます。ぜひ、研修等でご活用ください。



withコロナにおける医療現場での接遇の基本となる  
「伝わるコミュニケーション」について

▶ 会員の方はこちらから → <http://iryousougoushien.jp/>

